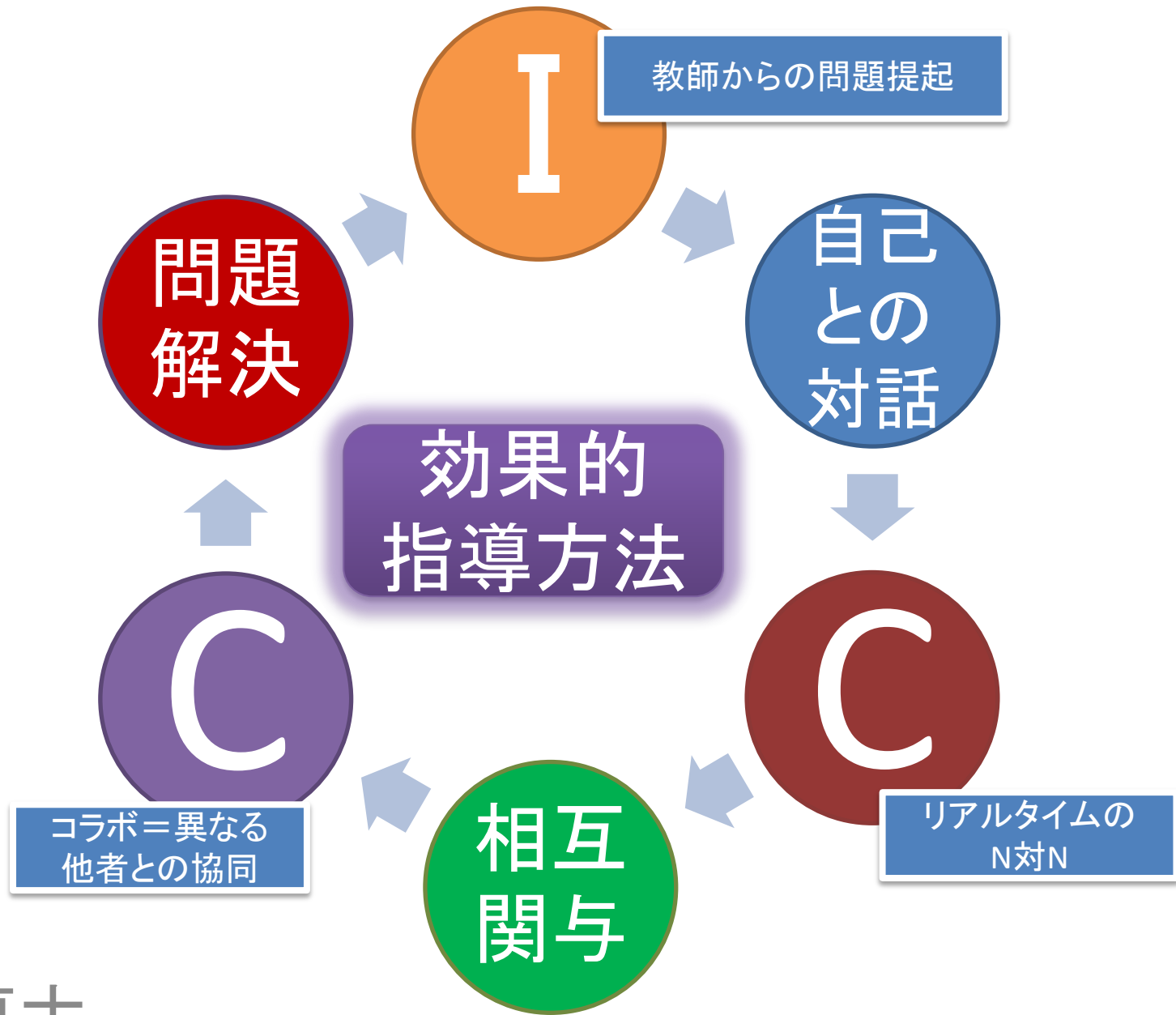


生涯教育文化学科キャリア教育におけるICT利用の効果  
〜自己内対話と相互関与を相乗的に高める方法



西村美東士

2012年8月10日 ICT利用による教育改善研究発表会

# 自己内対話と相互関与の ICT相乗効果をめざして 1

現在、SNSなどでツイート(短文投稿)する若者が増えている。その実態は、たんなる「つぶやき」(ツイッター導入当時の表現)にすぎないことが多い。そして、教育界においても、「学習者のつぶやきを大切にす

る」という動きがあり、それでよしとする若者は増える一方である。

しかし、それは、相互理解実現のためのコミュニケーションの努力放棄にもつながりかねない。とくに、他者からの理解を求めて、「鬱ツイート」(鬱なツイート)を垂れ流しにする学生は、結局は、自らを孤立に追い込むという危機に直面していると推察される。

## 自己内対話と相互関与の ICT相乗効果をめざして 2

このような現状において、「相手のつぶやきは大切に受け止めつつ」、自らはICTを通して「他者から理解される表現に努める」よう学生に促すことは、喫緊の課題であると考えます。

このことによって、職業コンピテンシーの一環としての「関係調整力」を育成することができるだろう。

本学科では、キャリア教育の体系化に組織的に取り組んできた。本研究は、その現実化の一環として、ICT利用による自己内対話の深まりと、相互関与の活性化の関連と効果について確かめようとするものである。

機能制限見本版

## SKB ICT Center

生涯教育文化学科 ICT(情報通信技術)センター

個人として、親、職業人、市民として、  
充実した生涯を送ろう。  
ここは、学生が深く学び、仲間と深めあい、  
つながり、広がるための学習・参画拠点です

意見を書く

他者の意見を見る

## ◆「ICT利用による教育改善研究発表会」要旨・資料

## ◆つながりのシステム

携帯・パソコンによるカード集約システム

職業、結婚、子育て等に関する問題発見と解決の場(学生発題企画募集中)

## ◆教へのシステム

現行専門科目の内容と進行(生涯教育文化学科の授業進行を把握しよう)

生涯教育文化学科ワーク・ゲーム集

## ◆学びのシステム

授業で使うファイル集(研究図解、レポート、卒論、卒業時到達像達成計画等)

生涯教育学資料集

## ◆広がりのシステム

生涯教育文化学科各教員のページ

ICT活用ツール集

## ◆イベント日程

## ◆過去のストック

教員企画・学生参画の流れ-企画から収斂まで

企画を出す

意見をまとめる

提案する

成果を問いかける

収斂させる

授業記録を見る

アイデアを出す



click me!

What's New

自主ゼミ、自主勉強会提案も歓迎します。

**基礎ゼミ 1****生涯教育文化学科卒業時の事項像の設定と到達計画**

ダウンロード・表示

[ PPT ]

[ 画像 ]

[ 1年生が「生涯教育学と社会の変動」について図解ワークにより文章化しました。 ]

以下は見本版では収録していません。

- ◇20120417がっこう探検 アルバム
- ◇20120424職業で何をどうしたいか アルバム
- ◇20120424職業で何をどうしたいか AVI形式24M動画
- ◇20120424職業で何をどうしたいか WMV形式2M動画
- ◇20120424職業で何をどうしたいか カード構造化途中エクセル
- ◇20120508卒業時に向けた人格形成目標の設定
- ◇20120515卒業時に向けた人格形成目標の検討
- ◇20120518箱根FT 卒業時に向けた日次計画の作成
- ◇20120522社会の動向と生涯教育学の連動図解ワーク学生成果
- ◇20120605大学生になって何が変わったか自己内対話結果

**青少年指導者のための社会学****楽習による学びあいと支えあいそして 青少年の社会化とその支援**

ダウンロード・表示

[ PPT ]

[ 画像 ]

以下は見本版では収録していません。

- ◇20120412自分らしさを相互に理解する アルバム
- ♪20120412自分らしさを相互に理解する 22メガ音声！
- ♪20120419自分らしさを相互に理解する(追加分) 5メガWMA音声
- ◇20120419無価値組ゲーム 振込5000メガWMA音声

## 職業、結婚、子育て等に関する討論と解決の場

企画名	問題提起	BBSへの 意見書込	まとめ	追加意見 書き込み
kikaku001 : わがままは悪いことか 恋愛でも職業でも大切なことについて考える・・・	<a href="#">掲示板</a>	<a href="#">掲示板</a>		
kikaku002 : 母語を大切にするために 読書の勧め	<a href="#">掲示板</a>	<a href="#">掲示板</a>		
kikaku003 : 転職計画も含めたキャリアプランの立て方 雇用流動化時代の生き方	<a href="#">到達点</a>	<a href="#">掲示板</a>		
kikaku004 : 社会と連動する生涯教育学のあり方 社会や自己のキャリアと関連付けて、「我が学問」をとらえ直そう。 「我が学問」をとらえ直そう	<a href="#">到達点</a> <a href="#">到達点</a>	<a href="#">掲示板</a>		
kikaku005 : 支持的風土の仲間づくりに必要な能力 1年生がクラスの仲間づくり能力をクドバスチャートに まとめている。青少年指導者として、これを検討しよう。		<a href="#">掲示板</a>		
kikaku006 : 子育ての悩みー親が子どもを叱るとき 学生のあなたは、未来の母親として、子育て支援者として、 青少年指導者として、どう考えますか。		<a href="#">掲示板</a>		
kikaku007 : 子育ての悩みー親が子どもを許すとき 自分が思春期真っ最中の立場ならどう思うか。母親に なったらどう思うか。そこから客観的に論じてみよう。		<a href="#">掲示板</a>		
kikaku008 : 人はなぜ就職しなければならないのか 大学生の娘が「就職したくない」と言い出した場合、 親はどう言うべきか、検討してみよう。		<a href="#">掲示板</a>		

**学生発題企画募集中！** SKBICTセンター統括西村美東士までお申し込みください。



# BBS画面見本 逆時系列 mitoは西村美東士

[投稿フォーム](#)

[HomePage](#)

[No.23] 12/07/18(水)04:44:16 mito 【学問】

素晴らしい。じつは学問の定義は、学者が自由に言っているだけで、君の見解のほうがベターかもしれません。少なくとも君自身は、学問を自己内に位置づけて、授業を受けていることが明らかです。

そして、人の生活と連動させて、生涯教育学をとらえている。

生涯教育の授業、楽しいでしょう！

[No.22] 12/07/18(水)02:26:31

私が考える学問とは、日常に生まれる疑問や興味、問題意識を深める事だ。そして生涯教育(指導者)というのは、その場をつくることだと思う。場をつくるという事は単に機会を作るということではなく、空間や人間関係、そこに関わる人の生きがい作りや自己実現など、トータルしてコーディネートしていく事だと考えるため、私はこの学問を通じて多様な経験から多くのことを感じ、人との関わり方を学んでいる。

[No.21] 12/07/11(水)14:45:50 mito 【学問を職業に生かす】

みなさん、苦勞していますね。

学問の質は、体系的な説明力によって決まります。

そういう意識をもって、みなさんが受講している

「生涯教育学」を振り返ったとき、「指導者」として、どう役立たせるつもりか、もっともっと自己内対話を深めて、書き込んでください。

[No.20] 12/07/11(水)07:07:11

机上で勉強することだけが学問ではないと思う。それが社会教育だと思う。

## 投稿フォーム

番号  (必須)

タイトル

コメント (必須)

送信

取消

投稿しないで戻る

旧携帯向けのレイアウトにしてある。

# SKB ICT Center

生涯教育文化学科 ICT (情報通信技術) センター

What's New HOME

携帯・パソコンによるカード集約システム	生涯教育文化学科ワーク・ゲーム集	生涯教育文化学科各教員のページ
職業、結婚、子育て等に関する討論と解決の場	授業で使うファイル集	ICT活用ツール集
現行専門科目の内容と進行	生涯教育学資料集	過去のストック

## 携帯・パソコンによるカード集約システム

みんなのアイデアを集積することができます。  
生涯教育文化学科教員は自由に使うことができます。  
学生は、管理人(西村美東士)の許可を得て、ツールとして使うことができます。

研究図解成果のほか、抱負付きの自画撮りなどを学生が直接アップロードして、共有できる。

CUDBAS CHART		JPMPS/人材育成の見える化)付録CO-ROM 2008 VER2.0																		
まだ1年生のため、能力表記になって異なるカードは、西村が修正した。仕事カードの表記は未完了である。																				
作成年月日: 2012年7月8日		作成者: 生涯教育文化学科1年																		
分析対象: クラスの仲間づくりに必要な能力																				
仕事	能力																			
	1-1	1A	1-2	1A	1-3	1A	1-4	1A	1-5	1A	1-6	1A	1-7	1A	1-8	1A	1-9	1A	1-10	
仕事1	気持ちに言いさすことができる	相手の目を見て話すことができる	教室に入ってきたらまずおはようと言え	話してきてくれるのを待たず、自分から話しかけることができる	相手の考えを理解しようとする態度がとれる	相手の意見を尊重することができる	相手の嫌なことを、気にならずに受け入れることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	自分の考えをうまく伝えることができる	
仕事2	思い知り合おうとする態度がとれる	相手の気持ちになって考えられる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	相手の感情を理解することができる	
仕事3	自分のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	友達のお話を分けてあげることができる	
仕事4	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多種多様な人々との交流ができる	
仕事5	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	仲間だけでなく、多様な人々との交流ができる	
仕事6	重要なことばすに合うことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	相手の話をよく聞いて、重要なことばを言うことができる	
仕事7	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	相手の気持ちに寄り添って考えを伝えることができる	
仕事8	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	相手の感情を理解し、自分の感情や意見を伝えることができる	
仕事9	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる	問題を解決するために、一つのことばについて真剣な態度がとれる

半自動によるカード構造化

Card  
カード入力  
はこちら

Image  
画像投稿  
はこちら



## 初年次キャリア教育に 求められるもの

### 対自

- 自己理解（学生個人の「職業への構え」の育成）

### 対他者

- 関係調整力（交信力と論理力の育成、異質対応力）

### 対社会

- 職業理解（必要な職業知識と必要な職業能力の明確化）

注） 2年次以降、「自己と職業との調和」に取り組む

## ICTセンター（WEB）の ねらいと構成

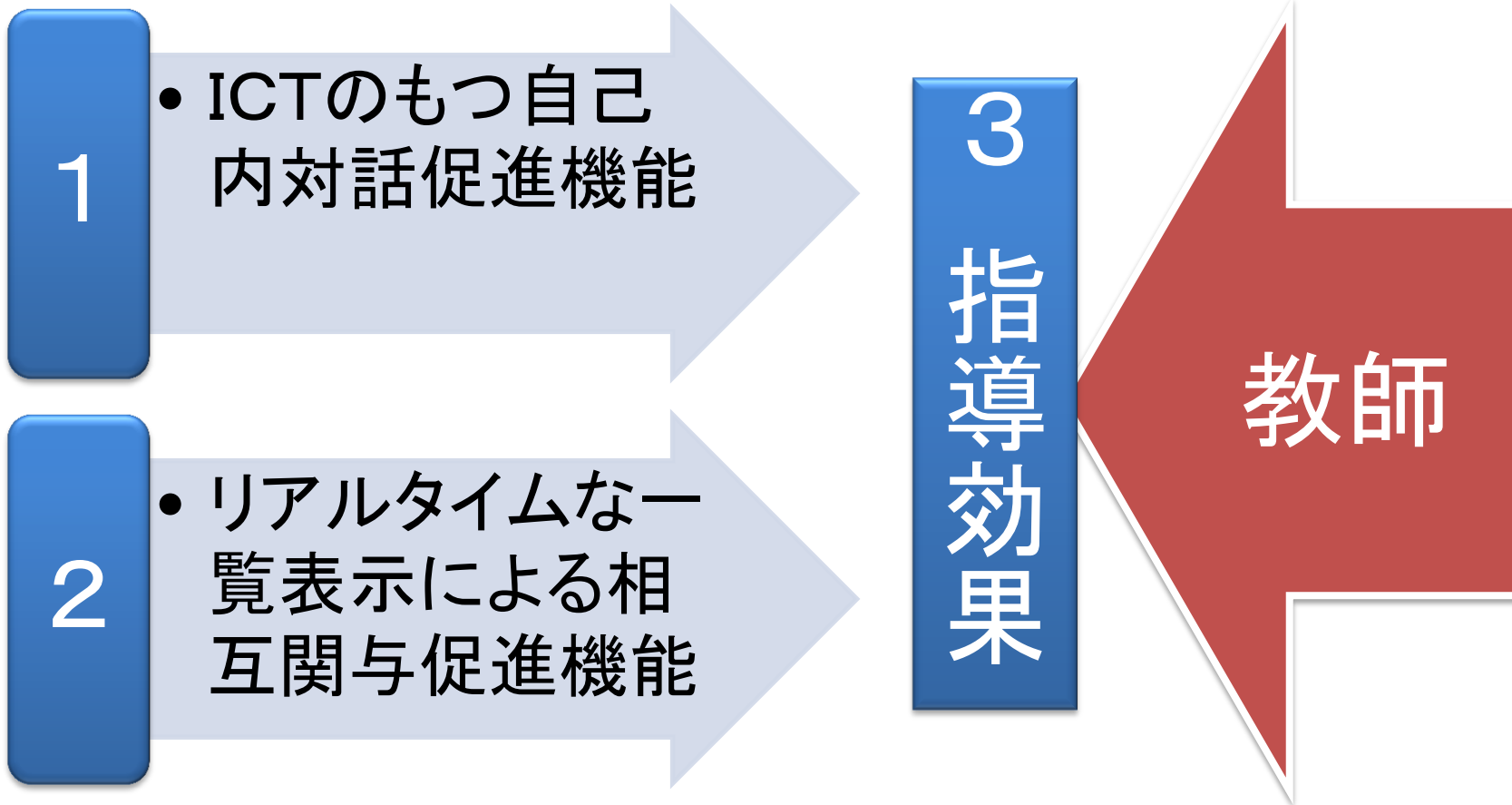
### 個人的 能力

- 情報処理能力
- 言語能力
- 課題発見力

### 社会的 能力

- ICTコミュニケーション能力
- 対他者コラボレーション能力
- 課題協同解決力

# 研究目的と到達像



# 教師の指導行為とその機能

ICTは、同時に同内容の指導が多数者にできる。個人指導の内容も公開される。

## 指導行為

## 指導機能

課題提示(問いかけ)

表現支援機能(よりよい書込みのための示唆)

紹介(他の関連情報)

課題解決促進機能(必要な気づきのための示唆)

回答(レスポンス)

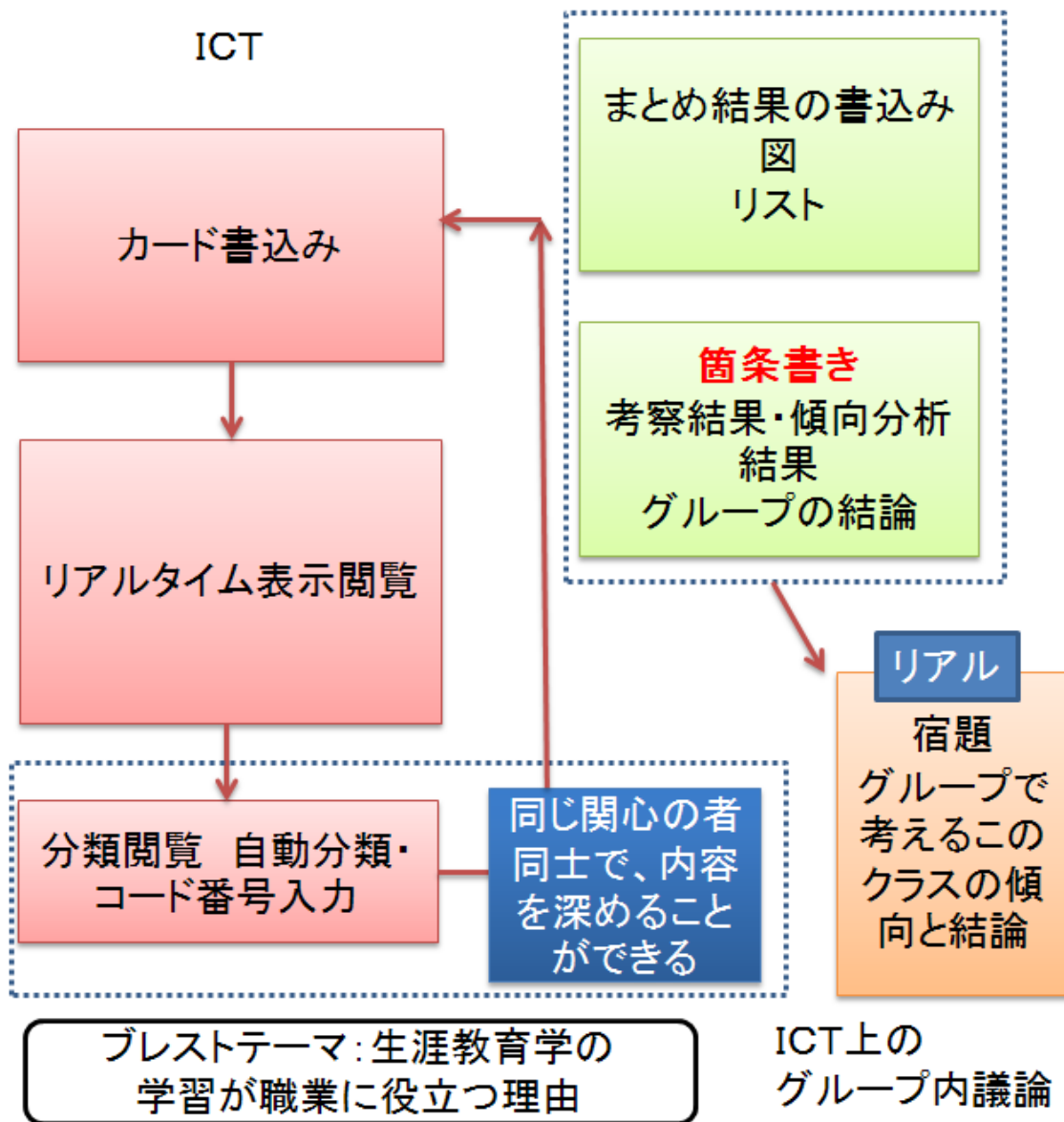
受容機能(学生の書込みへの肯定的評価)

指示(書込みのポイント)

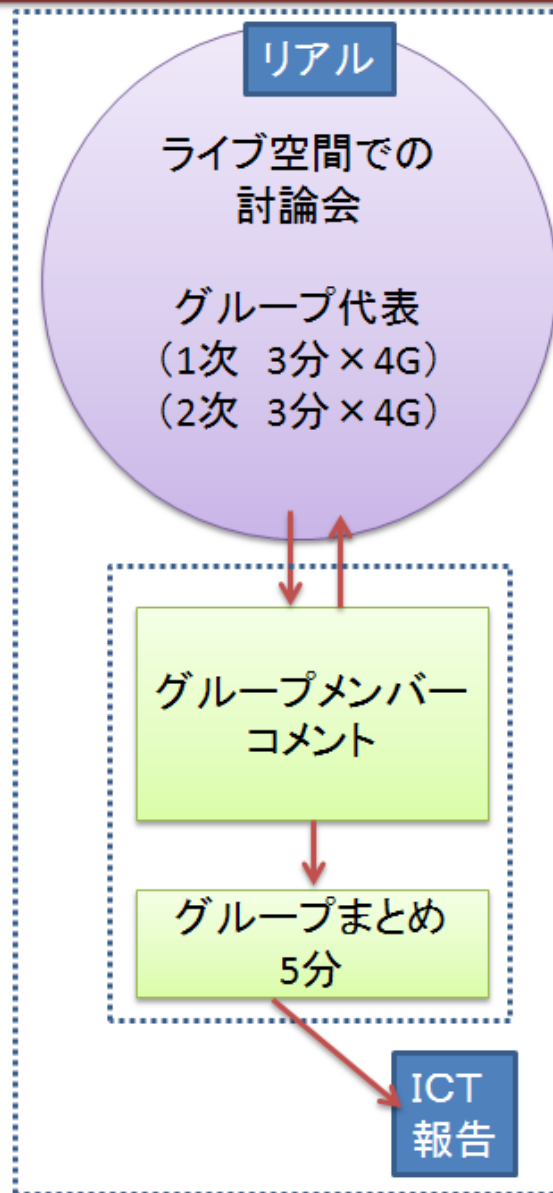
揺さぶり機能(固定概念の打破)

# 研究方法 他学科大人数学生を対照群とした実験授業

2012/06/19「生涯学習概論」

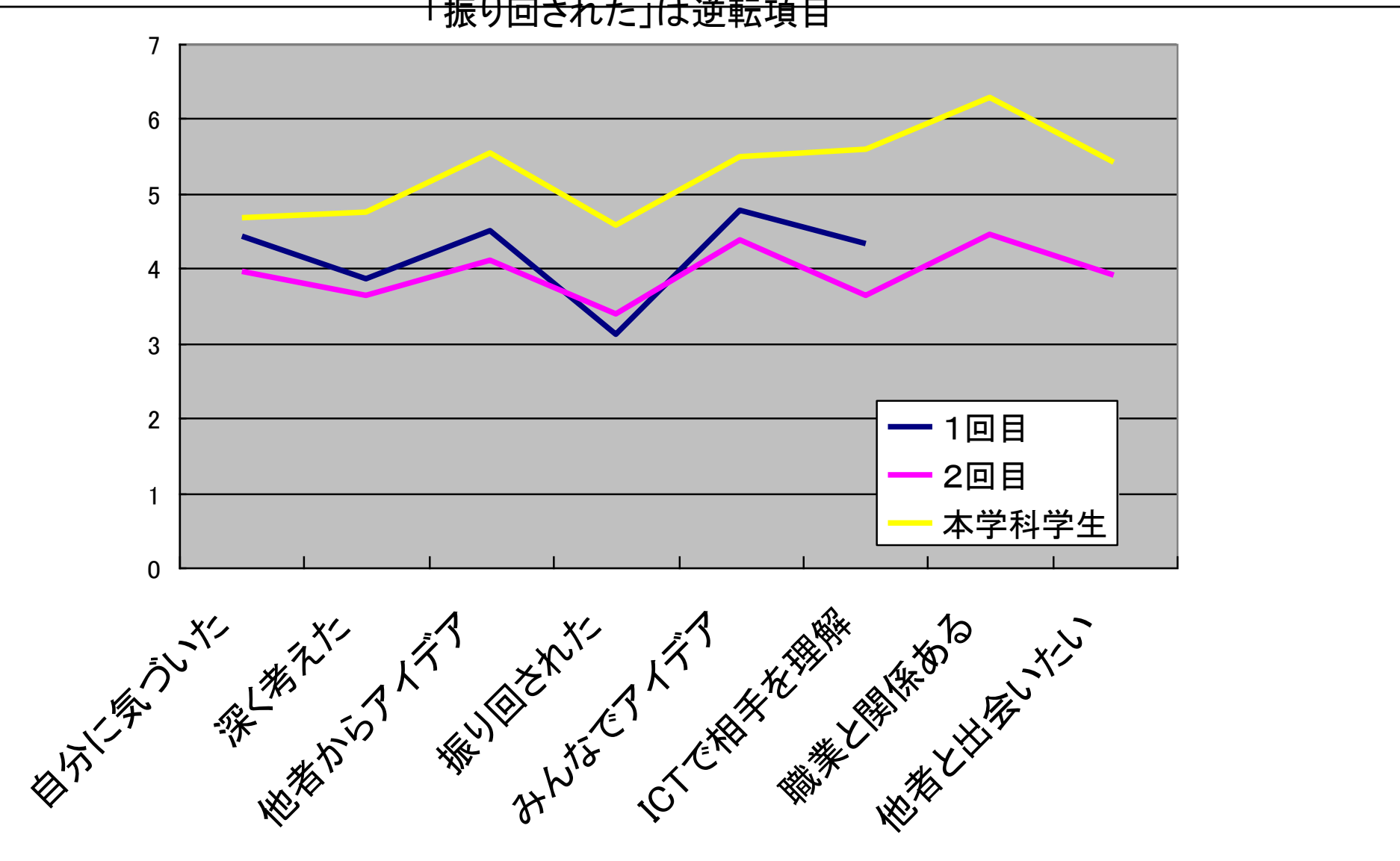


2012/06/26「生涯学習概論」



# 研究結果 1

7強く思う6そう思う5どちらかといえばそう思う4どちらともいえない3あまりそう思わない2そう思わない1まったくそう思わない  
「振り回された」は逆転項目





### 傾向1

- 効果があったという学生となかったという学生が分極化している。

### 傾向2

- 効果があったという学生も、すべてについて肯定的ということではない。

### 傾向3

- 自己内対話で深めることより、他者のアイデアを読んだり、仲間で考えたりすることにより、アイデアが出たという学生が多い。

### 考察

- 他学科の学生は、ICT操作の不慣れ、協同体験の不足から、戸惑いが強かった？
- 本学科の学生は、ICTや協同体験に慣れっこになっているため、自己内対話は浅かった？

## 研究2の方向1 教師の介入事例から

### KIKAKU004: 社会と連動する生涯教育学のあり方

社会や自己のキャリアと関連付けて、「我が学問」をとらえ直そう。

20 机上で勉強することだけが学問ではないと思う。それが社会教育だと思う。

21 学問を職業に生かす

課題提示

みなさん、苦勞していますね。学問の質は、体系的な説明力によって決まります。そういう意識をもって、みなさんが受講している「生涯教育学」を振り返ったとき、「指導者」として、どう役立たせるつもりか、もっともっと自己内対話を深めて、書き込んでください。

22 私が考える学問とは、日常に生まれる疑問や興味、問題意識を深める事だ。そして生涯教育(指導者)というのは、その場をつくることだと思う。場をつくるという事は単に機会を作るということではなく、空間や人間関係、そこに関わる人の生きがい作りや自己実現など、トータルしてコーディネートしていく事だと考えるため、私はこの学問を通じて多様な経験から多くのことを感じ、人との関わり方を学んでいる。

23 学問

評価付与

素晴らしい。じつは学問の定義は、学者が自由に言っているだけで、君の見解のほうがベターかもしれません。少なくとも君自身は、学問を自己内に位置づけて、授業を受けていることが明らかです。そして、人の生活と連動させて、生涯教育学をとらえている。

研究2の方向2

学生記述の変容過程理解の方法

サービス  
需要型か

記述の視点

サービス  
供給型か

記述内容

質的評価	評価基準
能動的肯定	方法論を伴う展望を含む
肯定	実態及びその対応可能性に対して肯定的
否定	実態及びその対応可能性に対して否定的
能動的否定	実態の問題点をサービス供給者側のチャンスとしてとらえており、その解決の方針または展望を含む

注) 戦略計画手法SWOT(アルバート・ハンフリー、1965)における「機会」(Opportunities: 目標達成に貢献する外部の特質)の考え方にヒントを得た。

## 自己内対話と相互関与の関連

自己内対話と相互関与は、学生のタイプによって得意、不得意が分かれるため、適切なICT活用の授業デザインと、教師の介入なくしては、両者の相乗的効果は望めない。以上の視点から、今後は、学生の記述と教師の指導内容の関連について検討を進めたい。

その上で、職業生涯の充実の観点に立ち、「記述はめんどくさいから話しちゃう」という安易協同型から、深い自己内対話を経た個人尊重協同型への転換の方法を明らかにしたい。